

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2026年3月期 第3四半期

2026年1月30日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目 次

【四半期決算短信「当四半期連結累計期間の経営成績の概況」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 主な医薬品の売上推移	P 3
III. 新薬開発状況（自社）	P 4
IV. 新薬開発状況（導出）	P 4

注記

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2026年1月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「当四半期連結累計期間の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、59,858百万円（前年同期比5.8%増）となりました。過活動膀胱治療薬ベオーバ、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオス、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬タバリスの売上の伸長などにより、増収となりました。

また、当社が創製したリンザゴリクス（一般名）の技術導出先であるセラメックス社（英国）は、子宮筋腫を適応症として2024年9月、ドイツにてYselty（イセルティ）の製品名で新発売して以降、発売国を拡大し、同年11月には子宮内膜症の追加適応症を取得しました。本剤は、当第3四半期連結累計期間においても引き続き、発売及び発売に向けた準備が進められており、輸出売上高は順調に増加しています。

当社がライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）は2025年7月に、本剤の韓国におけるサブライセンス先であるJWファーマシューティカル社（韓国）より新発売されました。

情報サービス事業の売上高は8,776百万円（前年同期比46.6%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は3,265百万円（前年同期比36.4%増）、物品販売事業の売上高は733百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

・利益の状況

増収を確保したものの、利益面では、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加により、営業損失、経常損失となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

・研究開発の状況

2025年7月、ブリジアンセラピューティクス社（米国）との間で、甲状腺眼症治療薬Veligrotug（一般名）及びElegrobart（一般名、開発番号：VRDN-003）の日本における独占的な開発権及び販売権の取得に関する契約を締結しました。また、2025年7月に急性骨髄性白血病治療薬Olutasidenib（一般名）の国内第Ⅰ相臨床試験の開始に続き、同年8月には当社が創製したバセドウ病治療薬KSP-0914（開発番号）の国内第Ⅰ相臨床試験を開始するなど、研究開発テーマのステージアップを進めています。

2025年2月に承認申請を行ったリンザゴリクスは、子宮筋腫を適応症として同年12月に製造販売承認を取得し、現在、薬価基準収載後に当社のグローバル商標であるイセルティの製品名にて、販売を開始するための準備を進めています。

リンザゴリクスの海外展開については2025年10月、サーチライトファーマ社（カナダ）にカナダにおける独占的な開発権及び販売権を許諾しました。また、台湾における技術導出先であるシンモサバイオフーマ社（台湾）は、2025年10月に子宮筋腫を適応症として販売承認を取得するとともに、同年12月には追加適応症として子宮内膜症の承認申請を行いました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2025年3月期		2026年3月期			
	第3四半期 累計	通期実績	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	65,669	88,330	72,633	10.6%	95,500	8.1%
医薬品事業	56,572	75,299	59,858	5.8%	78,000	3.6%
国内医薬品	48,989	63,975	52,102	6.4%	67,200	5.0%
医薬品	45,333	59,108	48,174	6.3%	62,100	5.1%
その他*1	3,655	4,866	3,927	7.4%	5,100	4.8%
海外ライセンス	4,795	7,770	5,012	4.5%	7,200	△7.3%
技術料*2	1,876	2,209	835	△55.5%	900	△59.3%
輸出	2,919	5,561	4,177	43.1%	6,300	13.3%
ヘルスケア食品	2,787	3,553	2,743	△1.6%	3,600	1.3%
情報サービス事業	5,987	8,735	8,776	46.6%	12,600	44.2%
建設・施設メンテナンス事業	2,394	3,435	3,265	36.4%	4,000	16.4%
物品販売事業	715	860	733	2.5%	900	4.7%
売上原価 (原価率%)	32,551 (49.6)	44,265 (50.1)	37,641 (51.8)	15.6%	49,700 (52.0)	12.3%
売上総利益	33,118	44,065	34,992	5.7%	45,800	3.9%
販売費及び一般管理費	28,880	38,291	38,674	33.9%	48,400	26.4%
研究開発費 (売上高比%)	10,095 (15.4)	12,889 (14.6)	19,189 (26.4)	90.1%	23,000 (24.1)	78.4%
営業利益又は営業損失(△)	4,238	5,773	△3,682	—	△2,600	—
営業外収益	1,392	1,542	1,910	37.3%	1,800	16.7%
受取利息及び配当金	1,328	1,450	1,519	14.4%		
その他の収益	63	92	391	513.9%		
営業外費用	331	341	454	37.2%	300	△12.0%
支払利息	15	21	20	35.4%		
その他の費用	316	319	433	37.3%		
経常利益又は経常損失(△)	5,298	6,974	△2,226	—	△1,100	—
特別利益	9,329	12,033	16,000	71.5%	18,600	54.6%
特別損失	3,054	3,398	166	△94.5%	300	△91.2%
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,574	15,610	13,607	17.6%	17,200	10.2%
法人税、住民税及び事業税	2,634	2,918	5,298	101.1%	6,500	122.8%
法人税等調整額	84	716	△2,850	—	△2,200	—
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	14	14	144	891.3%	200	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,840	11,961	11,014	24.6%	12,700	6.2%

(包括利益)

(△723)

(△1,914)

(17,577)

(—)

*1：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

*2：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

Ⅱ．主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2024年 3月期	2025年3月期		2026年3月期			
		第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ベオーバ	15,335	14,016	18,662	16,379	16.9%	21,000	12.5%
MPA ^{*1} 、GPA ^{*2} 治療薬 タブネオス	5,161	6,753	8,989	8,841	30.9%	11,800	31.3%
透析そ痒症治療薬 コルスバ	757	3,864	5,284	6,150	59.1%	8,000	51.4%
高リン血症治療薬 ピートル	5,241	3,510	4,442	3,143	△10.5%	4,000	△10.0%
慢性ITP ^{*3} 治療薬 タバリス	818	1,637	2,190	2,848	74.0%	3,700	68.9%
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	4,077	2,999	3,792	2,843	△5.2%	3,500	△7.7%
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	3,806	2,534	3,209	2,091	△17.4%	2,800	△12.7%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	2,336	1,421	1,771	1,128	△20.6%	1,500	△15.3%
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	1,091	920	1,153	893	△2.9%	1,200	4.1%

*1：顕微鏡的多発血管炎

*2：多発血管炎性肉芽腫症

*3：特発性血小板減少性紫斑病

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

（2026年1月現在）

製品名 ／一般名 ／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
イセルティ ／リンザゴリクス	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	発売準備中	創製品
	子宮内膜症		第Ⅲ相	創製品
Cretostimogene grenadenorepvec ／CG0070	高リスク患者における 筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
ロパチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH)作用	第Ⅲ相	導入品／塩野義製薬
Matsupexole ／KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
Olutasidenib	再発／難治性 急性骨髄性白血病	IDH1阻害作用	第Ⅰ相	導入品／ライジェル(米国)
KSP-0914	バセドウ病	甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体 阻害作用	第Ⅰ相	創製品

※ 前回公表時（2025年11月）からの変更点
イセルティ（子宮筋腫） 承認申請中 → 発売準備中

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

（2026年1月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (Linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	発売準備中
			3カ国 ^{*1}	セラメックス(英国)	承認申請中
			韓国	JWファーマ(韓国)	第Ⅲ相
	子宮内膜症		台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
			3カ国 ^{*2}	セラメックス(英国)	承認申請中
シロドシン (Silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体拮抗作用	ベトナム	エーザイ(日本)	承認申請中

*1 ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ（スイスは承認取得に伴い削除）

*2 ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

※ 前回公表時（2025年11月）からの変更点
リンザゴリクス（子宮筋腫・台湾） 承認取得 → 発売準備中
リンザゴリクス（子宮内膜症・台湾） → 承認申請中（新規記載）